

平成27年度公益社団法人大学体育指導者全国研修会開催要項

時代に即した大学体育の展開

公益社団法人全国大学体育連合は、大学をはじめとする高等教育機関における体育教育に関わる教職員および体育教員を志望する大学院生等を対象に、大学体育の指導・運営等に求められる知識やスキルの修得・向上の機会提供として、大学体育指導者全国研修会を実施しています。平成27年度の研修会では、多くの大学で実施しているスノースポーツの実習の際に指導者が把握しておくべき冬山滑走本来の愉しさ、そして冬山滑走を安全に楽しむために必要なリスクマネジメントについて理解を深めたいと思います。また、スキーやスノーボード、テレマークスキーや山スキー、そしてスノーシューなど、多様な冬山道具の使用感や滑走形態の違いなどについて学んでいきます。

研修会初日には、雪の観察を通して積雪の状態を把握し、雪崩等の危険度を予測する方法について、講義と実習により学びます。また、雪崩に巻き込まれた時に命を守る方法や、道具を使用して遭難者を捜索する方法について体験的に学習します。さらに、世界中で数多くのバックカントリー経験がある講師から、これまでの豊富な経験に基づく冬山滑走本来の楽しみ方やリスクマネジメントについて講演してもらいます。二日目以降の実技研修では、八甲田山スキー場の山頂からツアーを組んでバックカントリーに入り実際に滑走する中で、冬山を効率的に移動する方法や装備品の使用方法、深雪を滑走する技術や滑走の際の注意点について体験的に学んでいきます。その他にも、八甲田を知り尽くす地元ガイドから、八甲田の自然について、またバックカントリーに入るための最新用具について解説してもらいます。さらに各大学で行われているスノースポーツの実習内容や指導方法について参加者どうしで意見交換し、時代のニーズに即したスノースポーツ実習の果たすべき役割について検討していきます。

これから新たにスノースポーツの授業を担当する予定の方のみならず、既に担当している方（中堅層）にも積極的に本研修に参加して頂き、豪雪地帯でのバックカントリー滑走をとおして、冬山の自然と戯れる愉しさとリスクマネジメントについて理解を深め、これまでの実習に深みを加える、ワンランク上の大学体育の展開を目指します。

期 日 : 平成27年3月2日（月）～5日（木）
場 所 : 酸ヶ湯温泉旅館・八甲田スキー場
主 催 : 公益社団法人 全国大学体育連合
主 管 : 公益社団法人 全国大学体育連合 東北支部
後 援 : 文部科学省（申請中）

* 本研修会は、公益社団法人大学体育連合の大学体育研修精励賞の対象研修会です。

<プログラム（日程）>

1 日目 (3/2)	2 日目 (3/3)	3 日目 (3/4)	4 日目 (3/5)
1200 - 受付(旅館)	830- 実技研修Ⅱ	830- 実技研修Ⅳ	830- 実技研修Ⅵ
1300 - 開講式	バックカントリーツアー	バックカントリーツアー	1230- 閉講式
1315- 講義	1300- 実技研修Ⅲ	1300- 実技研修Ⅴ	
1430- 実技研修Ⅰ	バックカントリーツアー	バックカントリーツアー	
1800 - 夕食	1800- 夕食	1800- 夕食	
1930 - 講演Ⅰ	1930- 講演Ⅱ	1930- ディスカッション	

<内容及び講師>

- ・講演Ⅰ バックカントリーの魅力とリスクマネジメント
佐々木大輔（日本バックカントリースキーガイド協会）
- ・講演Ⅱ 八甲田の自然とバックカントリー用具の最新事情
浜部信彦（酸ヶ湯ガイド主任）
- ・講義 積雪の状態から判断する冬山のリスクマネジメント・佐々木大輔
- ・実技研修Ⅰ バックカントリー装備品の使い方、雪崩搜索演習、積雪状態観察法
- ・実技研修Ⅱ バックカントリーの基礎技術（班別ツアー）
- ・実技研修Ⅲ～Ⅵ バックカントリーの応用技術（班別ツアー）
- ・ディスカッション これからの大学スノースポーツ実習の在り方について

<募集>

募集対象：会員、またはこの法人の目的を理解し、賛同し、高等教育機関における体育教育に関わる教職員（非常勤講師を含む）およびそれを目指している者（大学院生、研究生等）

募集人員：30名（ゲレンデでの滑走技能が中級以上の方）

* 定員に達した時点で締め切ります。お早めの申し込みをお願い致します。

宿泊先：酸ヶ湯温泉旅館（〒030-0111 青森市荒川南荒川山国有林酸湯沢 50 番地）
TEL：017-738-6400

参加費：会員校の常勤教員・個人会員 53,000 円、専業非常勤講師 43,000 円、
大学院生 40,000 円、非会員 63,000 円
（宿泊代、ロープウェイ代、ビーコン、ゾンデ、スコップのレンタル料含む）

用具：滑走用具（スキー・スノーボード）は各自でご準備ください。

- ・スキーの場合：ヒールフリーになる用具が望ましいです。通常のスキーの方にはヒールフリーになるアタッチメントを貸出します。【要申込】 また、シールが必要です。お持ちでない方には貸出します。【要申込】
- ・スノーボードの場合：スノーシューが必要です。お持ちでない方には貸出します。【要申込】

・ ツアーの際、30 リットル程度のザックが必要です。ザックには下記の用具を入れて行動します。

スキー：シール、アタッチメント、ゾンデ、スコップ、昼食、着替え・防寒具など

スノーボード：スノーシュー、ゾンデ、スコップ、昼食、着替え・防寒具など

申込方法：全国大学体育連合 HP からお申し込み下さい。

(下記問い合わせ先に直接申し込んでも正式な申込にはなりませんので
ご注意ください)

* 氏名、所属はプログラムの参加者名簿に掲載させていただきます。

* 定員に達した時点で締め切ります。参加決定者には後日、参加費振り込み先
など詳細なご案内を差し上げます。

キャンセル料：7日前～4日前30%、3日前～前日50%、当日100%

* 申込後のキャンセルは下記問い合わせ先のメールへ連絡してください。

問合せ先：福島大学 人間発達文化学類 杉浦 弘一

Mail: ksugiura@educ.fukushima-u.ac.jp

Tel: 024-548-8216

* 問い合わせは基本的にメールでお願いします。

申込期限：2015年1月30日(金)

その他：研修中に撮影した映像は、機関誌「大学体育」、HP等に使わせて頂きます。

<アクセス>



酸ヶ湯温泉までのアクセス

詳細は酸ヶ湯温泉ホームページをご覧ください。

【飛行機】

青森空港から車で1時間

【電車・バス】

青森駅下車 東口 JRバスで 1時間10分 酸ヶ湯温泉前

新青森駅下車 東口 JRバスで 1時間20分 酸ヶ湯温泉前

十和田湖休屋 JRバスで 1時間30分 酸ヶ湯温泉前

【高速道路】

東北自動車道

青森中央インターチェンジから40分

青森インターチェンジから50分

黒石インターチェンジから45分

【タクシー】

青森中心部から約45分

料金 7,000～8,000円

無料送迎バス

宿泊の方に限り、送迎バスを利用することが出来ます（予約が必要です）

往路 青森駅前（アウガ駐車場横）→ 酸ヶ湯

青森駅前（アウガ駐車場横）発 10：15

青森駅前（アウガ駐車場横）発 14：00

復路 酸ヶ湯 → 青森駅（アウガ駐車場横）

酸ヶ湯発 8：50

酸ヶ湯発 12：30

冬期ゲート開閉情報

大雪による事故防止のため、期間中の夜間は雲谷ゲートが閉まります。例年、21:00-7:30の時間帯で閉鎖されているようです。閉鎖後は酸ヶ湯へ行けなくなりますので、HP等でゲート開閉情報を必ずご確認ください。

酸ヶ湯温泉旅館

青森県青森市荒川南荒川山国有林酸湯沢 50 番地 TEL: 017-738-6400